

令和7年度 第1回三田市健康審議会 議事要旨

日時	令和7年10月1日(水) 14時00分～
場所	総合福祉保健センター 1階 多目的ホール
出席委員	塩谷委員、中井委員、岡本委員、野原委員、大隈委員、森委員 平岩委員
欠席委員	武田委員、大崎委員、坂口委員、山本委員
行政	健康福祉部：外岡部長、谷口次長、鶴次長 健康増進課：田中課長、上月副課長、三木係長、西山主任、遠藤 地域福祉課：中村課長、宮城副課長、森山

【次第】

1 開会

事務局開会あいさつ

2 挨拶

外岡部長よりあいさつ

3 委員紹介

各委員紹介

4 会長・副会長の選出

- ・会長に塩谷委員、副会長に中井委員を選出
- ・塩谷会長あいさつ

5 会議の公開について

…資料1 附属機関等の会議の公開に関する事務取扱要綱(抜粋)

資料2 附属機関等の会議の傍聴要綱

事務局

- ・資料に沿って説明

議事録については発言者名を記載しないこと、内容要約での掲載について委員承認

6 報告事項

(1)健康審議会の体制について

…資料3 三田市附属機関の設置に関する条例(抜粋)

資料4 三田市健康審議会規則

事務局

資料に沿って説明

(2) 第3次健康さんだ21計画(第3次三田市健康増進計画・第2次三田市自殺対策計画)の概要について

…別添資料 第3次健康さんだ21計画 概要版

事務局

資料に沿って説明

(3) 令和6年度の取り組みについて

…資料5 第3次健康さんだ21計画の実施状況(令和6年度)

資料6 第3次健康さんだ21計画 進行管理シート

事務局

資料に沿って説明

副会長

基本目標1(1)生活習慣病重症化予防・重症化予防の取組概要において、糖尿病性腎症重症化予防事業の取組が記載されている。今年は猛暑の影響もあるのかもしれないが、糖尿病の既往が無い方でも急性に腎機能が悪くなっている方が多かったように感じている。慢性腎臓病により透析が必要になった患者を何人か診たが、体のしんどさの訴えが大きい。透析までの過程にある人への食事や生活指導のために近隣の腎臓内科に紹介すると、禁煙・禁酒や食べ物に気を付けるよう指導したといった回答をもらったり、スタッフ不足のため指導は難しいと返ってくる場合もあった。透析が必要になるまでの間に気を付けた方が良いことについて誰でも分かるような資料があれば良いと思う。今後の展開として、糖尿病ではない慢性腎臓病に対する取り組みも実施していただきたい。

会長

基本目標1(1)生活習慣病重症化予防・重症化予防の数値目標にあがっている「特定健診受診率」は令和4年が32.9%、令和6年速報値が33.1%とあまり改善していない。兵庫県全体で見ると、良いところは大体40%近くになっている。資料には無関心層を含めた新規受診者の掘り起こしが必要と記載があるが、今後受診率が上がる見立てはあるのか。受診勧奨ハガキの発送はある程度の効果があり、今後も順調に上がっていくように感じているということか。

事務局

ご指摘の通り、特定健診の受診率はあまり上がっていない状況。コロナ渦で大きく落ち込んで以降、少しずつ上昇しているところではあるが、現状のやり方のままで今後大きく上がることは難しいだろうと考えている。特定健診はがん検診等の他の健(検)診と併せて実施する方が受診率上がりやすいというデータもあるが、現在は5大がんの検診のうち胃・肺・大腸がんは集団健診でしか実施できていない。それらを個別医療機関で受診できるようにする等、さらに多くの人を受診できる形にしていくことにより、特定健診も併せて受診率が上がるのではないかという見込みを持っているが、個別化に当たっては医師会様との調整や、何よ

りも財政的な面で検討すべき事項が多い。今後の課題だと認識している。

7 協議事項

(1) 令和 6 年度重点事業の取組状況と令和 7 年度の事業展開について

・健康増進事業の取組状況と今後の事業展開について

…資料7 健康増進事業の取組状況と今後の事業展開について

事務局

資料に沿って説明

委員

女性の健康づくりの推進の部分で、女性は男性に比べて日常生活に制限がある期間が長いと記載がある。このことは男性にも知ってもらうことが大事ではないかと感じた。例えば男性が知ることで女性の制限が緩和されるということであれば、男性にも知ってほしいと思う。

委員

70歳を過ぎると、脳梗塞・脳出血・心筋梗塞・大動脈解離といった血管疾患が増えてくる。歯科健診のような歯科のみの縦の取り組みだけでなく、最近よく取り上げられている歯周病と糖尿病の関係、歯周病が原因で細菌が繁殖することで肺炎になるというような歯周病と全身疾患の関係といった横の取り組みも行うと良いのではないか。

会長

指摘の内容は大切な視点である。オーラルフレイル予防の取組である「お口の筋力アップ講座」や「フレイル予防教室」において、歯周病と糖尿病、歯周病と全身疾患の関連を啓発してもらいたい。

委員

社会福祉協議会では、ひとり親家庭への支援を行っている。食料支援を行っているなかで、ひとり親家庭の方は自身の健康づくりへの意識が繋がりにくい面があると感じている。女性の健康づくりの推進の取組の一つとして当協議会も連携できるのであれば、支援時に健康づくりの啓発もできればと思う。ただ来てくださいというだけでは、時間が無いために難しい場合があるかもしれないが、無料で健診等を受けられるといったような特典があれば、健康づくりのきっかけになり、お子さんを含めた健やかな育成に繋がるのではないか。

会長

例えばミニ健康チェックを実施するといった特典をつけることも可能性としてあるかもしれない。

委員

女性の健康づくりの推進について、第 2 次三田市食育推進計画において若年女性のやせについて重点的に取り組む予定と記載されている。今年の 4 月に日本肥満学会が女性の低体重/低栄養症候群について記者会見を開き、メディアでも多く取り上げられていた。若年女性の低体重、低栄養に最も影響を与えて

いるのは SNS やファッション系のメディア・企業であり、本来は適正体重の人でも SNS やメディアが煽ること
で、もっと痩せないといけなと考えるてしまう。自分のボディイメージが捉えられていないことが一番の問題
で、そのため過度のダイエットや GLP-1 受容体作動薬の不適切使用に手を出すことに繋がってしまう。そう
いった若い人達への施策を考えていくことが重要。市では現在高校生へのアプローチも実施しているが、ぜ
ひそういった視点を入れて施策を組んでいただきたい。

会長

若い女性のやせという視点は重要。3 月の基調講演の中にも SNS やファッションの影響等、若年女性の
やせについて入れてもらいたい。

委員

三田地域活動栄養士の会においても、若年女性のやせに対してレシピを作成した。骨粗しょう症予防の
ため鉄分を補給できるレシピを 10 点ほど作成し、コープで配布させていただきたいと考えている。10 月 26
日のコープフェスタで配布させていただき、以降も活用していきたい。また今後は配布先についても検討し
ていきたい。

・自殺対策事業の取組状況と今後の事業展開について

…資料8 自殺対策事業の取組状況と今後の事業展開について

事務局

資料に沿って説明

委員

小中高生の自殺者が増えており、兵庫県警も情報提供を求めている。令和 2 年～令和 6 年の過去 5 年
間における宝塚市・三田市管内の全年齢の自殺者数が 259 人で、そのうち 19 歳以下が 8 人。令和 6 年宝
塚市のデータでは自殺未遂者全体のうち 19 歳以下が約 3 割を占め、若年の未遂者が多いことが問題だと
考えている。三田市でも未遂者数について把握していれば教えて欲しい。

事務局

自殺対策担当課の地域福祉課では未遂者について把握できていないが、消防が自損行為による搬送
件数を把握している。今後は消防との情報共有を図りながら取り組んでいきたい。

委員

管内自殺予防推進会議の部分に関連機関との連携強化について記載があるが、警察、消防なども連携
してもらいたい。未遂者にどう対応していくかが課題であり、マネジメントが必要だと思う。宝塚健康福祉事
務所も含めてになるが、傷が治ったら終わりではなく、精神科に繋ぐなどの対応をよろしく願いたい。

委員

市内の自殺事例を踏まえ市でもゲートキーパー研修を推進していると聞いているが、一部の地域では、
地域における取組は控えて欲しいという声もあったため地域での細かい取り組みは行えなかった。社会福

祉協議会としても、子ども食堂や地域での居場所づくりも支援しているため、市と連携して自殺予防にも取り組んでいければと考えている。

会長

他に意見等があれば、後日事務局までお願いしたい。

8 その他

- ・次回会議については、令和 8 年度に 1 回開催を予定。令和 7 年度の取り組み状況の報告、令和 10 年度の間見直しに向けた今後の展開について協議いただきたい。

9 閉会